



友愛

題字 前渕 幸信

【理念】自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい



社会福祉法人 友愛会

亀岡友愛園

〒621-0251 京都府亀岡市本梅町平松ナベ倉 12 番地
TEL : 0771-26-2115 (代) FAX : 0771-26-3557

《特別養護老人ホーム》	《デイサービスセンター》	《居宅介護支援事業所》	《ホームヘルプステーション》
TEL : 0771-26-2115	TEL : 0771-26-5432	TEL : 0771-26-0039	TEL : 0771-26-0038
FAX : 0771-26-3557	FAX : 0771-26-3557	FAX : 0771-26-5929	FAX : 0771-26-3557

《亀岡市西部地域包括支援センター》

TEL : 0771-26-0056
FAX : 0771-26-5929

《高齢者あんしんサポートハウス》

京都府亀岡市本梅町平松原谷 24-2
TEL : 0771-26-2310 FAX : 0771-26-0880

地域密着型事業 すずらん

〒621-0806 京都府亀岡市余部町中条 17 番地
グループホーム 小規模多機能ホーム TEL・FAX 0771-20-2840

はりきり工房ケアプランセンター

〒621-0243 京都府亀岡市宮前町宮川大端 12
居宅介護支援事業所 TEL : 0771-20-8382 FAX : 0771-20-7917

社会福祉法人友愛会 後援会 振込口座 01030-8-42554 <http://www.yuaien.or.jp>



『今こそ、柔軟な発想と ポジティブシンキングで』

（福）友愛会理事長 内藤 徳 男

新年明けまして

おめでとございます。

平素より、当法人の運営に関しまして、関係各位よりご理解・ご厚情・ご協力を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。



さて、社会福祉法人を取り巻く環境の厳しさ（人材不足・介護報酬の抑制など）がこれからも続いていく事が予測されます。

その状況にあって、必要とされる法人で在り続けるために大切なことは、あくまでも「利用者にとっての価値とは何かを見極め、法人理念の『隣人愛』に法人の価値を見出し、法人なのである確かな『方向性』（持続可能でワクワクする必要がある活動）を創造していくことです。

不透明で閉塞感を抱きがちな「今」を生き抜くためには、「元氣の出る活動を思い描き、追い求め、日々

に継続的思考を深めながら前進する必要があります。

「夢を実現させる」力を結集させる過程の中にこそ、希望の光を見出せるのです。



これからは、国の介護保険制度の下で重度要介護者の方々の生活を支援していく事業と平行して、介護保険制度から外れて行く要支援者・軽度要介護者の方々が、安心と希望を持って生活できる新たな仕組みづくりを、官・民が協力して具体的に推し進めていく必要があります。

何故ならば、要支援者・軽度要介護者の方々が、地域の中で孤立しないでも一日でも長くお元気で暮らせる事が、介護保険制度を持続可能なものに出て、真に長寿を喜ぶ事が出来るからです。

日常生活を出来るだけ自らの力で続けて行きたいと願う当たり

前の要望や潜在的なニーズをくみ上げ、ご利用者が介護サービスを受ける時に抵抗感や違和感を抱くような福祉の色を出さないで、それでいて在ったらありがたい、必要とされることを思い描き、「元氣を生み出す」場所づくりや仕掛けづくりを手掛けたいと考えています。



具体的活動として、まず、「ご利用者の命を守る」ための体制整備と職員の人材確保・人材育成を継続して手掛けて行きます。

次に、「ご利用者の命をつなぐ」ための『居場所』（地域サロン活動・多世代交流活動・災害時避難者受け入れなど）づくりを継続し、発展させて行きます。

そして、「命を謳歌できる」活動へと深めて行ければと考えています。



移りゆく社会の中で、本来に必要なとされる「コトやモノ」だけが存続していける！という物事の道理をわ

きまえ、（福）友愛会が、真に必要とされる法人になり得るために、粘り強く取り組んで参ります。

人に喜んでもらえる活動をする事が、我々のミッションであり、我々が目指す法人が存続していく唯一の道であります。

地域共生社会実現に向けて役割が果たせるよう、今までの介護保険制度枠内だけにとらわれず、柔軟な発想とチャレンジスピリッツを持つて【目標】に向かって参ります。

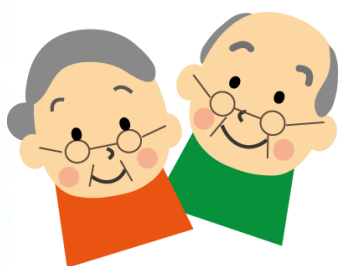


【目標】

「ご利用者の命を守る」

「命をつなぐ」

「命を謳歌できる」活動を行い、真に求められるサービスを創り出し、選んでもらえる法人になる。



特集

我がこと

すずらん新聞

～地域に向けて～

毎月発行を、「利用者や地域の方に配らせて頂いています。開設当初から、職員の手書きで作成しています。新聞担当があり、その担当で内容から構成まで考えてしているのですが、はじめは地域や「家族さん」にすずらんはどういう事をしているのか、知って頂くところの月の行事や日常を載せて発行していましたが、年数を重ねると、毎年同じ行事になる事もあり、地域の方から「もうだいたい行事はわかった。」と声がありました。その時に、ちゃんと見て頂いているんやな。と思ったと同時に、内容に変化が必要何を載せたら楽しんでもらえるかと、担当は考え地域の方に役立つ事を載せよう。と思い、そこから「日常で役立つポイント」や「腰痛体操」等の地域の方が家でできる事を載せるようになりました。載せてから地域の方の声を聞く機会はないですが、担当職員にとっても体操や身体の仕組みの勉強になる事があります。

手書きでの毎月発行は、正直大変です。でも、もし新聞をみてちょっとしてみよかな。との思いをもつて頂き、地域の方が元気でいてもらえたら、またすずらんが地域の方達にとって頼れる所になれればと思

い今後色々な事を発信し続けていきたいです。

すずらんも今年で十二年目を迎えることが出来ましたが高齢化が進み、九十歳以上の方が半分程おられます。グループホームでは初めてとなる看取り介護を経験する事でも来ました。人の死には様々な病院で亡くなりたいたいと言われる方や自宅で自然に亡くなりたいたいと思われる方々です。開設当初からおられ、最後まで看取れた事が良かったです。行事では毎年恒例の夏祭りや子供達のダンス、地域の方とも余部町の天神祭りに屋台を出店させて頂き交流できました。

四月はお弁当を持ってお花見に行きました。五月はお誕生日の方も多く手作りケーキを作ったり、ロッジを借りてバーベキューに行きました。途中雨は降りましたが小規模多機能・グループホームと交流できました。六月は手品やフラダンスのボランティアさんに来て頂き笑顔を引きだしていただきました。七月はピアノ演奏会や七夕の飾り、ハーモニカ演奏で歌を唄う事が出来ました。余部町の天神祭りもあり、屋台を出させていただきました。子供達がゲームをして、笑顔が見られました。八月は夏祭りのポスター作りに丸亀製麺に外食にいきました。九月はすずらん祭りや敬老会をしています。お祭りで賑やかに楽し

しいひと時を感じられました。またご家族で参加されたり、子供達とも交流できる機会になっています。いつもボランティアに来て頂きありがとうございます。

日常の様子では外の草引きをしたり掃除、洗濯、料理と家事の活動を一緒にしています。

『ボリング大会』

敬老祝賀会で、ボリング大会を行いました。

ボリングに行くのは初めての試みでした。ご利用者の「昔はボリングしてたんや」「久しぶりにしてみたいな。」との声があり、普段室内でのボリングはレクリエーションで行っていますが、本当のボ

小規模多機能
副主任

坂本 直子

リングへ行ってみようという計画をしました。

まずは、ボールを持つ事が出来る様に、筋力作りからで普段の時からペットボトルに水を入れて持つての運動をはじめました。「ボールは重たいもんな」と言いながらも目的がある為に続ける事ができました。

当日は、みんな上手に投げる事ができ普段「もついいよ。」とあまりレクリエーションを好まれないかたがずっと笑い「楽しいな」と言われていました。帰ってきてからも「楽しかったわ。久しぶりやけど出来たわ。」「おもしろかったで。」と玄関で笑いながら話して下さいました。同行した職員も、普段と違つご利用者の表情、笑顔がみれた事で嬉しそうに帰ってきていました。

出来ないと思っていた事が出来た事、また出来る。と気づく事ができた時の嬉しさはみんな一緒。無理と考えるのでなく、どうしたら出来るかを考える事の大事さ、これから喜びを一緒に味わわせて頂く瞬間を大切にしていきたいです。

『生活・交流・避難』の場づくり

あんしんサポートハウス

生活相談員

新 久雄



昭和四十七年に軽費老人ホーム
亀岡友愛園が開設されました。四十
七年が経ち、平成二十七年十一月か
らは、新たに高齢者あんしんサポー
トハウス亀岡友愛園に生まれ変わ
りました。

ここ本梅の地におよそ半世紀、サ
ポートハウスになっても、地域の
方々のお顔が見える関係づくりを
目指し、活動をしています。
① 日課の足踏み体操・ラジオ体
操・お口の体操を始め、週一回



本梅小学校の皆さんと交流



習字クラブの様子

② の元気体操、隔週一回のDVD
体操、月一回のわくわく体操等
の健康維持増進の場
地域カラオケ喫茶、習字、大正
琴、ハーモニカ+歌声ひろば、
粘土細工、フラワーアート、ゲ
ームや折り紙などのレクリエ
ーション活動、園芸活動などを
通して、楽しみや生きがいを感じ
る場

③ 地元本梅保育園児さん、小学生
さん、育親中学生さんや一般ボ
ランティアさんとの交流の場
災害時の要配慮者の方々の一
時避難場所

④ 『ゆう愛健康イベント』と題し
た薬局さんとの共催の健康維
持増進の学びの場

⑤ ご利用者や地域の方々との交流
の場を拡げ、「健康で過ごしやす

まちづくり」「災害に強いまちづく
り」を目指して行きます。

地域防災活動としては、今年も八
月十五日の台風十号襲来時に、四名
の一人暮らしの方で、土砂災害の危
険を感じた方々を受け入れました。

九月七日には、地元本梅町自治会
の役員さん・区長さん・民生児童委
員さん・西部地域包括職員等と協力
して、車椅子移動要介護者の方を実
際に軽リフト車で家までお迎えに
行き、ご家族付き添いのもと、サポ
ートハウスへ避難していただく訓
練を実施しました。

今後は、本梅自治会や本梅地区社
協と協力して炊き出し訓練も企画
しています。

交流においては、地域カラオケ喫
茶が、四年目に入り徐々に地域に浸
透して来ました。今年の八月から、



体操は毎日の日課です！



夏祭り 育親中学生のみなさんの素敵な発表

特養ご利用者のNさんにサポート
ハウスにお越しいただき、折り紙船
づくりを教えてもらいながらワイ
・ワイガヤガヤと楽しい交流が始ま
っています。

また、サポートハウスに入居され
ているご利用者の多くは、法人の理
念であります「自分を愛するように
隣人を愛しなさい。」を心に留めて、
認知症の方が困っておられる時な
どもお声かけをされ、お互いに支
えあう関係づくりを育んでおられ
ます。

職員は、自らの残された力を発揮
しているとご利用者に感じてもら
える自立支援を心がけながら、それ
ぞれの役割を果たして行けるよう
取り組んで参ります。

『選んでいただく存在』

居宅介護支援事業

管理者

能勢 幸浩



ケアマネージャーはご利用者本人の、生き方や好みを尊重します。そして、できるだけご本人もご家族も「今より、楽になれるよう」最善をつくします。

相談業務、代行申請、アセスメント、居宅支援事業者の紹介、ケアプラン作成、給付管理、モニタリング、サービスの評価や調整等々仕事は多岐にわたります。

当事業所に所属するケアマネ（ケアマネージャー）三人の実務経験資格は「介護福祉士」で、介護現場の指導職を経たキャリアを持っています。

あなたの「強みは？」と聞かれると、やはり目の前にいらっしゃるご利用者に寄り添い、考えることが一番とスタッフは言います。

ケアマネの力量の向上には多くの知識や学び、情報と、チームケアが必要です。社会動向と共に最近



二号被験者の方の御利用やガン末期のターミナルケアも含め、医療と介護の連携強化は必須となっています。

人の幸せにかかわれるこの仕事を誇りに笑顔と優しさをモットーとしています。

ケアのチームやご利用者ご家族から選んでいただける事業所を目指して、今日も走り回っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

『八年目を迎えた』

地域包括支援センター』

亀岡市西部地域包括支援センター

社会福祉士

内藤 久美子



平成二十四年に開設されました亀岡市地域包括支援センター友愛園は八年目を迎え、その間、平成三十年からは亀岡市西部地域包括支援センターという名称に衣替えし、主任ケアマネージャー・看護師・社会福祉士の三職種で西部地域（本梅町・宮前町・東本梅町・畑野町）の皆様の間々ご相談をお受けしています。

ご家族の介護のこと、健康に過ごすための情報提供、高齢者を守る制度のご紹介、高齢者訪問調査など地域包括支援センターが当初より担っており業務はもろろのことと、新たに昨年から、住み慣れた地域で住民の皆様が自らの楽しみや生きがいを実現する「居場所」を創り出すためのお手伝いをしています。人口減少や高齢化、交通手段の不足など地域の課題が見えてきた今、よりよい地域づくりのための



取組みを始めておられる地域もあり、地域包括支援センターとしてできることで地域に協力させていただきたいと考えています。

業務内容が広く多忙となってきた

てはいますが、今まで通りどんな疑問でもまず、地域包括支援センターにご相談ください。適切な対応を心がけ、必要に応じ適切な相談機関をご紹介します。ご相談されることで心のつかえがおり、清々しい気持ちになれますよう職員一同研鑽を重ねていきますのでよろしくお願い致します。

『普段の会話から・・・』

特別養護老人ホーム

課長

中澤 妙子



私は四十代で入職しました。新人の頃は二十代の職員さんから『重い方ですから前で抱えますので後ろを支えてあげてください。』と、いつも私の身体を気にして助けてもらっていました。その間に



介護福祉士・ケ

アマネの資格を

とり相談員兼ケ

アマネとして働

いています。現

在は『疲れてい

ませんか?』な

どねぎらいの言

葉を掛けてもら

い現在十九年七

ヶ月がすぎまし

た。

相談員として

職員・入居様か

らたわいもない

日常生活の中で

感動した言葉・

感謝の言葉にめぐり合えることが

沢山あります。

紹介させて頂きます。

まず、特養では『看取りケア』を

しており、家族・医師・各専門職

がカンファレンスを開催し、御本

人・家族の思いに寄り添えるよう

何回も話し合い、積極的な治療は

せず、住み慣れた友愛園で人生を

全うされる方々がいらっしゃいま

す。

昼夜問わず先生（医者）が来て

くださり『〇〇さん、よく頑張っ



たね。』いつも

最後に肩をなで

言葉をかけられ

ます。

私も心の中で

『頑張られまし

た。』つぶやいて

います。命の尊

さが身に浸みる

時間です。

次に入居者様

達からの会話の

やりとりをお伝

えしたい。と、

思います。

特養ではお誕

生日に合わせて栄養士さんの手作

りケーキを前にお祝します。

『お誕生日おめでとつ。』『私よ

り十歳下やわ。』『来年もこうして

お祝いできたらいいなあ。』

ショートステイご利用の方が

家に帰られる時、『又おいでや。』

『待つてるよ。』言葉を交わされて

います。お家までの車中で、『あんな

風に言ってもらえて嬉しかった。』

『初めは、緊張したけど、又

行きます。お願いします。』の嬉し

そつなお顔を拝見し、安堵する職

員。

御家族からも面会に行くと、同

じフロアの方々から『よく来て

はるね。』って言ってもらいます。

利用者さん同士がよくお話されて

いて刺激があつてその中に母がい

てこれが生活と思います。

なにげない日常生活の中での

会話が、入居者・ご利用者・職員

に感動をもらい、感謝の心を持ち、

これからもう少し亀岡友愛園

で働いてみよう。と、決意してい

る日々です。



『心と心をつなぐ「挨拶」』

通所事業所

主任

大下 美和



一日の始まりに「おはようございます」と明るく元気に伝えます。そうすると「おはよう」「今日もよろしく」とたくさん笑顔が返ってきます。

一日の終わりに「ありがとございます」「さようなら」とさわやかに元気に伝えます。そうすると「さようなら」「また来るね」とたくさん笑顔が返ってきます。

私たちは働く中で、特に『挨拶』を大切にしています。挨拶は人と人とのコミュニケーションを円滑にさせるのに非常に重要な役割があると考えるからです。

『挨拶』の大切さを強く感じたエピソードがあります。

今から約五年前にご利用くださったMさん。リフト車でお迎えに行き、職員が裏口に向かって「おはようございます」と大きな声で挨拶をすると、照れくさそうな表情のMさんとニコニコ笑顔のご家族が出てこられました。「今まで、行きたくない」「今日は休む」と言っていたのに、職員さ

んの元気な声が聞こえた途端「早く外にでなあかんわ」と目の色が「口」と変わった」とご家族が笑いながら言われていました。

後に行われたサービス担当者会議時に、「いつも職員さんが元気に挨拶をしてくださるのがとても心地いい」「職員さんの声を聞くと、おばあさんも笑顔になって」「職員さんを待たせたらあかん」と準備を始める「おばあさんと一緒に私もデイサービスに行きたくなる」とお誉めいただきました。

当たり前にしていた『挨拶』が、ご利用者やご家族の心にこんな影響していたことに驚き、当時照れ臭かったのと同時に、挨拶をすることの大切さを学ばせていただきました。

平成二十七年文化庁が行なった「国語に関する世論調査」の「美



しい日本語があると思うか、そうは思わないか」の質問に「あると思う」と答えた人が全体の九十・八%にのぼり、多くの人が「思いやりのある言葉」や「挨拶の言葉」に美しさを感じていることがわかりました。また、「どのような言葉に出会ったとき、心と心をつなぐ言葉の大切さを感じるか」という質問には、五割強の人が「地域や職場で気持ちよく挨拶をし合うとき」と答えました。

『挨拶』は子どもから大人まで誰でもできるコミュニケーションです。誰でもできるコミュニケーションだからこそ、これからも元気に丁寧に『挨拶』をしていこうと思います。

『ご利用者の想いと』

『温かいつながら』

訪問介護事業所

サービス提供責任者

和崎千恵子



「おはようございます。」ヘルパーが訪問すると、いつも「ありがとございます」と手を合わせて下さるご利用者のご主人と、「子供さんはどうしてはる？学校行かあったか？」と常に気遣って下さ

るご利用者の奥様。朝から温かい気持ちになりました。

お二人とも九十歳を過ぎておられました。「この家で過ごしたい。」と強い思いを持たれ、1日5時間ヘルパーが訪問する日もあれば、デイサービスやショートステイを利用される日もあり、ご家族が来られお世話される日、親戚の方や近所の方からも温かい支援を受けながら、在宅生活を維持されておられました。

しかし、徐々に足腰が弱られ移動もままならなくなってきたら、それでも「自分で動きたい。家で生活したい。」というお二人の強い思いが、ご夫婦に関わる人達は、一日でも長く大好きな家で安心して過ごして頂きたいという気持ちになっていました。

しかし介護保険サービスには限界があり、ご夫婦の希望に添えないことや、訪問時間が足りない事もありましたが、ご家族様のご協力があり、こちらの要望にも柔軟に対応して下さいました。

ご夫婦やご家族が、この地域で築いて来られた地域の方たちとの信頼関係と、介護保険のサービスが協力して、お二人の在宅生活は守られていたと思います。また、この時間を一緒にたくさんの方々と共有出来たことを光栄に思います。

友愛会



『自分の事』

グループホーム

副主任

津崎 順也



小さい時分は曾我部から生まれて百五十日ぐらいて育ての親である千代川町にきた。その話を聞いたのは育ての親に聞いた。昔と今と比べて家の数は一・二件ほど増えたが殆んど変わらない。幼少期は近くのお宮さん（天神さん）の広っぱで遊んだり大川や山で遊んでいた、特に川の土手から魚とりをしたり水泳をしたりして遊んでいた。ヤス持つてついたり、しほり言つて網でたくさん魚を捕つて食べてたよ。一日で多い時は五合位とれたな。大体三十四ぐらいて取れて食べていた。ゴリ言つ小さい魚やけど炊いて食べてた。高級食材なんやけど・・・子供が病気でして食べるものがなかったからお粥に混ぜて食べさせていた。今は



齋田 信夫 様

ゴリでも食べる人おらんけど、昔の高級食材やで、おかずにゴリは最高や、辛く炊いて魚やし栄養もあるし。

健康の秘訣…何でも食べるし、運動もするし、本が読むのが好きで読書もするし新聞も読む。昔は恋愛小説も読んでいた。長生きなのは体質もあるな。

楽しみ…美味しいもの食べたいくらい。連れも少なくなつてここも男性が少ない。

二十五・六歳ぐらいて結婚したホテル捕りに行ったりして女のひと遊んだ。

青年時代では、二十一歳ぐらいて兵隊検査があった。満州に行つたけど寒かった。初年兵やったから集団で行動して、トイレも一緒に行つたらすぐに固まつて蹴れるくらいになつた。五分ほど手袋外したら手が白くなつたわ。満州に一年ぐらいて、朝鮮（韓国）に半年ぐらいたな。そこで解散になつて日本に帰ってきた。戻つてからは百姓をして、苦勞もあつたけど今の若い者は人間的にかけている部分がある。一年ぐらいて苦勞した方がいい、今は自由になつたから・・・我慢する事も大切。今考えたらよかった。

わしの兄弟は学校の先生したり、市長したりして賢かつたけどわしはアカンな。丹波成人いうて

漢文・漢字を教えてくれる男性の先生がいたんやけど、賢い人やつた、自宅の広いところで教えてもらつてたんや。

『支えの力』

特別養護老人ホーム

副園長

五代 喜代美



四年前に入所されました、春木明さん九二歳をご紹介します。

春木さんには孫やひ孫様が大勢いらつしゃいます。先日面会に来られたお孫様に「おじいちゃんいつまで生きるの？」って聞かれたそうです。「それはわからん。自分でできることは自分でして、頑張るからあと頼むよ」と答えたそうです。

その頑張りにはちゃんと形になつて、なんと入所当初は介護三でしたが、今は介護一の認定を受けておられます。

「この生活には満足しています。目いっぱい働いておられる職員さんのことを思つて、自分のことは自分で。できるだけ職員さんにめいわくかけないよう」と職員や周りの方へのねぎらいの声掛けが春木さんの口癖です。

そんな春木さんには実は氣に掛ける人がいらつしゃいます。

「私より後からきた〇〇さん、きはつた当初はご飯も飲み物も自分で出来ていたけど、今は出来なくなつてね。氣の毒でね。私ができることは、〇〇さんに声をかけることだけです。〇〇君頑張れよ！朝昼夕頑張つて食べなあんよ」って、そしたら〇〇君の頭の動きで『頷いて』ね、きっと私の言つ事がわかつてはると思つんです。それが嬉しいんです。」



春木 明 様

時々不服言つのは勘弁してくださいと言葉を添えながら、職員さんの『力』になるように、〇〇君の『力』になるようにと願っています。」と言われました。

春木さんはいつも人の『力』になることを思つて暮らしておられます。そして、きっとそれが春木さんの生きる『力』になっているのだと感じました。

春木さん、ずっと長生きしてくださいね。春木さんの笑顔が私たちの『力』になります。

『パワーを結集して』



あんしんサポートハウス

介護員

蔭山佐代子

開いて拍手！開いて拍手！
ひざひざひざひざ フクフク
「ワァー！」

軽やかな曲に乗って元気な掛け声が響き渡ります。両手に持ったポンポンが宙を舞います。

これは、週に一回行われている元気体操の運動風景です。

平均年齢八十一歳と思えない身のこなし、一時間みっちり動き



が止まりません。それには、皆様にはある目標があるからです。

健康維持の一環で、二年前から介護予防運動として取り組みました。最初は、お一人ずつお声をかけ集まって頂き、ゆっくりとしたリズムの体操から始まりました。担当職員の熱心さも手伝い、回を重ねる毎に参加される皆様に変化がみられてきたのです。

「手がまっすぐに上がるようになっただけ」身体が軽くなってきたみたい

「楽しいわー」

ある方からは、「お風呂の時間と重なっているから練習に出られません。お風呂の時間を変えて欲しい」とのお願いもありました。

入居された時に「また、嫁入りしてきたみたい。よろしくお願ひします」とおっしゃっていた九十五歳のK様も右へ左へと腕が伸び、前向きな姿勢は今も変わりません。

十月十九日に京都先端科学大学で開催される「京都体操祭」に向けて、揃いのTシャツに身を包み、自分達の日頃の練習の成果を披露したいとの思いを胸に、パワーがみなぎっています。

何歳になっても想いをもち、お互いに力を合わせることで成し遂げられる喜びを感じています

『住み慣れた地域で』

いつまでも健康に！

特養館居宅サービス部門

課長

柴田 一馬



亀岡友愛園の職員が、何か地域のお役に立てないかと、はりきり工房桑山邸で、にわかに始めていた「コグニサイズ」は、宮前町自治会からの依頼を受け、平成二十八年一月から地域サロンの一部でおこなうようになりました。コグニサイズとは、コグニションII認知力向上とエクササイズII運動をくっつけた造語です。脳と体を同時に動かすことで、軽度認知症の予防が期待できると言われています。

はじめはサロンに参加される方へ、どの程度の運動と脳への課題を考えればよいのか？そして何より、このプログラムおもしろいんやろか？と悩むこともありましたが、今では反応が良くなければ、当日プログラムを変更したり、また、用意したプログラムを簡単にクリアされることもあります。これでは脳の運動にならないため、すぐに難易度を上げ、よく意地悪になってしまいます。

Let's
コグニ
サイズ!!



一生懸命プログラムに取り組まれている皆さんの表情が僕は大好きで、一緒に遊んでもらっている感覚になる時があります。地域の方々の健康に、ほんの少しでもお役に立てるように、新しいプログラムを考え続けたいと思います。

児玉香澄



令和元年六月
よりデイサービ
スで働かせて頂

いている児玉香澄と申します。
福岡県出身で、学生時代は新
体操をしていたので、ボールを
転がすことと側転が得意です。
三歳と五歳の二児の母です。

介護の仕事は全く経験がな
く、毎日初めてのことでばかりで
すが、優しいご利用者さん達が
見守って下さるので、人の温か
さを日々感じています。

これから勉強しながら、顔を
見ると安心できると思ってい
ただけるような介護職員にな
りたいです。よろしく願いま
す。

星加麻千子



介護職がほぼ
初心者の私です
が、この仕事に

就いて主に感じた事をあげま
す。

ご利用者お一人お一人の身
体の状態、感情表現の違いや
日々の体調の変化があるので
接し方が分からない時があり
ます。日常のお世話をすると

う事はかなり踏み込んだ関係
になるので、ご利用者にとって
も介護者の人間性というところ
を見られているのではない
かと思うことがあります。仕事
としてどう関係性を持つてい
くのか私にとって一つの課
題としてあります。



川 友美

令和元年九月
より入職しまし
た。

前の職場は老健で六年ほど
パートで働いていました。

友愛園では、今まで働いてき
た自分の介護士としての実力
で利用者様をサポートしてい
き自分のスキルアップもでき
ればいいなと思います。

今、配属されたユニットのス
タッフさんも楽しくて、親切な
方ばかりなので、いろんな方か
ら指導していただき頑張っ
てやっていきたいと思うので
よろしく願います。

他部署の方とも機会があ
れば話など聞ければいいと思
います。

ルーキー
です！

廣瀬竜介



この四月
から特養ユ
ニットに介

護員として配属されまし
た廣瀬竜介と申します。

私は十一年前まで友愛
園にて勤務をしておりま
したが、退職後理学療法
士の専門学校、病院、施
設でのリハビリ業務を経
て戻ってまいりました。

再び介護員として今ま
での経験を活かして、ご
利用者様には安楽に過ご
していただけるように尽
くし、そのための勉強を
継続していく所存です。
何卒ご指導ご鞭撻のほど
よろしく願いましたし
ます。

小笠原シャネル



私はフィリ
ピンのマニラ
生まれです。

日本に来て
八年になりま

す。今までは色々な仕事
をしてきましたが、今こ
うして友愛園にお世話に

なり介護の仕事を一生懸
命頑張っています。

私は今、介護の資格を
取るために勉強中です。
今後も頑張っていきま
すので、よろしく願
います。



大石和代

私自身数年に
わたり介護の仕
事に携わってき

ました。

今まで常に心がけてき
たのは、一人ひとりと親
身に向き合うことです。

いろんな人との出会い、
ご利用者やご家族様の笑
顔に接するたびにやりが
いを実感してきました。

「すずらん」におきま
しても、今まで経験をい
かしながら、利用者の
方々に安心して笑顔を絶
やさない毎日を過ごして
いただけるようサービ
スの提供に努めていき
たいと思いますので
よろしく願います。

月別献金者ご芳名

社会福祉法人友愛会のために用いて下さいと
尊い献金を寄せてくださった方々のご芳名を
月別に報告させていただきます。
平成30年4月～平成31年3月までご厚情を
いただいた方でございます。（敬称略順不同）



平成30年4月

京都復興教会 京都聖徒教会 中村祥子 佐々木初代 安倍恵子

平成30年5月

角谷 正 京都聖徒教会 なでしこ美容室 前渕幸信 安倍恵子

平成30年6月

山脇さかゑ 京都聖徒教会 佐々木初代 安倍恵子

平成30年7月

京都聖徒教会 蔭山彰子 山根芳枝

平成30年8月

京都聖徒教会 片岡広明 中村いく 余部町自治会 安倍恵子

平成30年9月

京都聖徒教会 前渕幸信 依田知子・澄子 安部洋子 亀岡友愛園後援会 安倍恵子
京都復興教会

平成30年10月

京都聖徒教会 前渕幸信 稲川はつを 依田知子 安倍恵子

平成30年11月

村西伸一 素木一郎 浜野龍一 石野多嘉子 京都聖徒教会 藤田抄子
西村加壽子 山田勝造・幸子 谷口英雄 宅間恒子 桑瀬勝郎 樋口久美子
藤井ムツ子 前渕幸信 山根芳枝 宮下 正 清水知子 安倍恵子
清水 潔・宏子 京都聖徒教会

平成30年12月

山本富美子 蔭山彰子 前渕幸信 古郝荘八・一木千鶴子 佐々木初代
依田知子・澄子 丹波新生教会 江見邦博 恵産業(株) 関田嗣雄 永田真一
本梅町南・北老人クラブ 菅 恒敏・洋子

平成31年1月

安倍恵子 京都聖徒教会 宮川経裕・美智子 島本キリスト福音教会

平成31年2月

京都聖徒教会 京都復興教会 松本正二

平成31年3月

西村加壽子 京都聖徒教会 亀岡友愛園後援会 上原淳一 前渕幸信 安部洋子
依田知子・澄子 安倍恵子

後援会会員名簿

社会福祉法人友愛会後援会の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

「友愛」の機関誌を発行して、後援会員の名簿を掲載し、ご報告に代えさせていただきます。

(令和元年11月1日現在 敬称略 順不同)

天野 洋	天野信子	伊藤 望	茨木福夫	今西儀夫	今西光恵	今村千登士
石橋かおり	植村良彰	浦野とし子	宇田慧吾	王鞍静子	大西啓造	大西幸子
岡田淳子	岡部友子	大木 悟	片岡広明	小畑 光	小畑幸代	小畑 義
小畑智恵子	片山節子	金谷恵美子	上島滋之	菅 恒敏	菅 洋子	木村丈司
亀岡聖書バプテスト教会	京都ハリストス正教会婦人会	久保満昭	久保末子			
神戸照代	小林 久	阪口登詩江	佐々木初代	澤野井慶子	清水 潔	清水宏子
清水知子	清水敬子	新開千恵子	杉 萬喜	千足創三	千足和子	高畑恵子
田中 顕	北村ちづ	田中範子	玉村光子	堂本直子	遠山ミチコ	長尾研司
中川紀子	中川みち	永田真一	永田真由美	中西俊弘	中村いく	中村祥子
中村弘子	仲村喜雄	村上 宏	村上すみ子	丹羽はるみ	長谷川すみれ	
韓 守信	橋本政志	樋口久美子	人見光雄	平野ふじ江	廣澤悦子	福嶋明美
藤井ムツ子	藤田抄子	藤野孝雄	藤野裕子	前渕博明	前渕美佐子	松岡千栄子
松本正二	水谷明子	南 勝司	三村幾久子	山内敏正	村上ヨシコ	森見真次
森見良子	森 美由起	安福美代子	山下ヨシヲ	山田節夫	山田絢子	山本貴美
リンカンリチャード・ベル節子	山本富美子	カ石明子	新 久雄	伊藤真由美		
岩本健二	穎川英宜	大下美和	蔭山佐代子	桂 宏美	川勝沙紀	川坂由佳
川村健司	桐原康介	木下洋子	倉石賢治	栗田一平	五代喜代美	小早川広恵
小森智仁	小森優香	小林恵子	佐井儀男	坂本直子	澤田尚樹	櫻井ゆう子
塩見和江	柴田一馬	清水裕子	末次 薫	高坂洋介	高坂晶子	津崎順也
辻井千都勢	寺嶋浩子	内藤久美子	内藤徳男	中澤妙子	中村美恵	鳴瀬慎太郎
能勢幸浩	野本誠喜	畑 昌平	東平行広	福庄隆樹	福田 朝	福知京子
藤井 操	堀越千鶴子	前渕幸信	前渕 功	前渕 豊	松尾知恵子	松田裕子
松本理恵	森政 肇	森 悠依	山内紀子	吉田美穂	山本真由	廣瀬竜介
富井 香	大石和代					

友愛会で一緒に働いてみませんか？

(福)友愛会は、お年寄りの暮らしを支援する仕事をしています。

お年寄りと関わる中に、生きる事や命に関する奥深い発見と共感があります！

チームでチャレンジできる喜びがあります！

ご興味のある方はご連絡お待ちしております。